

総発第389号
平成24年1月19日

酒田市監査委員 和田 邦雄 様
酒田市監査委員 堀 豊明 様

酒田市長 阿部 寿



定期監査結果に対する措置等について

平成23年11月11日付監発第44号により通知がありました定期監査結果に基づき、下記のとおり講じた措置等について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定により通知します。

記

課名		監査結果	措置内容
八幡総合支所 市民福祉課	要望事項	前例踏襲ではなく、年度の課題を整理し運営方針を作成すること。また、それに基づき、具体的な施策をたてて業務を進めるよう努められたい。	平成24年度に向けて運営方針及び課題等の見直しを行う。
松山総合支所 地域振興課	指摘事項	支出負担行為について事務処理の遅れているものが見られる。契約から財務会計処理までのチェックコントロールを適切に行うこと。	課内会議を開催し、全員で問題点の共有を図り、財務規則に基づく事務手続の確認を行った。また、チェックリストに改善項目を追加し、チェック体制の強化を図った。
	要望事項	契約書の内容について精査されたい。	指摘された内容について、指摘後に委託契約を締結したものについては改善した。現在、継続中の委託業務については、変更契約を締結し改善した。既に、業務が完了しているものについては、次年度の契約時に改善を図る。

<p>松山総合支所市民福祉課</p>	<p>要望事項</p>	<p>地域の現状を具体的に把握し、問題解決の目標を定めネットワークを構築しながら、地域福祉の向上に取り組まれるよう要望する。</p>	<p>これまで松山総合支所市民福祉課の取り組みとして、健康・医療・福祉の充実を図るため、生活習慣病予防教室、食生活改善教室等の健康教育や健診後の事後相談、健康に不安のある方や家族に対しては、保健師や地域包括支援センターによる訪問指導を積極的に行いながら、総合的に対応してきた。さらに地域全体で子どもたちを見守るため、学童保育や子育て支援、障害があっても住み慣れた地域で、安心して住み続けられるよう手をつなぐ育成会や福祉団体等との連携を密にして、福祉ネットワークの構築に向けて機能強化を図ってきた。</p> <p>現在、検診率や相談件数も市全体と比べて見ても高く推移している状況であるが、地域住民の心身の健康、家族や地域社会との関わり、生活環境や経済状況など、関係機関・関係団体の情報を一元的に進めていく必要がある。</p> <p>このため、松山地域の現状把握の一環として、地区担当民生委員・社会福祉協議会松山支部・地域包括支援センター・市介護保険課・支所保健師が一堂に会して、支援が必要な高齢者の情報交換を行う「ケア会議」を開催し、個別の状況を共有しながら、必要とする支援や介護サービスが受けられるようにしている。平成23年度は、6月21日に4地区合同で第1回目を開催した。1月には第2回目を地区ごとに開催する予定で準備を進めている。</p> <p>災害時援護希望者台帳については、災害など非常時の各支援組織の役割分担や連絡体制の構築を早急に進め、社会福祉協議会で進めている見守りネットワーク支援事業の拡充を図りながら整備・更新を継続して行い、制度の周知及び未登録者の登録を勧めるとともに、自治会長と民生委員の情報の共有化を図っていく。</p>
<p>平田総合支所</p>	<p>要望事項</p>	<p>支所全体の現金の収納、会計課への払込みについて、迅速に対</p>	<p>現金の収納、会計課への払込み手続は、平田総合支所庁舎以外も含めて件数、金額に関わら</p>

地域振 興課		応されたい。	ず、原則、翌開庁日に行うこととし、周知徹底を図った。
-----------	--	--------	----------------------------